

2019年2月21日

JR東日本秋田支社

男鹿沖で獲れるベニズワイガニのブランド化と連携した誘客の取組みについて

男鹿市（秋田県男鹿市、市長：菅原広二）、株式会社ドリームリンク（秋田県秋田市、代表取締役：村上雅彦）は、男鹿沖で漁獲されるベニズワイガニを「北綱がに^{きたづな}」と命名して、ブランド化に取り組みます。

JR東日本秋田支社は、「北綱がに」を男鹿エリアの新たな食の魅力として、PRや旅行商品化に取り組み、男鹿市並びに周辺エリアへの誘客を図ります。

宣伝と旅行商品化の取組み

男鹿市では、ベニズワイガニのほか漁期が異なる本ズワイガニも「舞雪がに^{まいせつ}」としてブランド化を行うなど、一年を通じて種類の異なる「かに」が漁獲されることから、男鹿沖で獲れるかにを観光素材として、新たな誘客に取り組みます。

1. 宣伝の取組み

- (1) 多様な媒体を活用し、首都圏を中心に宣伝を展開します。
- (2) イベント企画とのタイアップにより、県内および周辺エリアへ魅力を発信します。

2. 旅行商品化の取組み

- (1) 男鹿における体験型商品と「かに」による付加価値のある旅行商品の展開により、誘客を図ります。
- (2) 個人型や団体型、かにのコース料理や食べ放題プランなど、多様なニーズに合わせて旅行商品を企画します。



男鹿のベニズワイガニ（イメージ）